

115

contents

生誕100年 香月泰男 - 追憶のシベリア -

ボランティア活動紹介

平成23年度特別展予告

年間スケジュール

天花

TENGE



香月泰男「葎」1969年 山口県立美術館蔵

特別展

生誕100年

香月泰男-追憶のシベリア-

3/2水 ~ 5/8日

【開館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)

【休館日】月曜日 ※ただし4月26日から会期末まで無休

【観覧料】一般600円(500円) / シニア500円(400円) / 学生500円(400円)

※シニアは70歳以上の方、()内は前売りおよび20名以上の団体料金。

※18歳以下、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。

※前売券は、ローソンチケット(Lコード63348)および県内各プレイガイドでお求めください。

【主催】香月泰男展実行委員会(山口県立美術館、朝日新聞社、yab山口朝日放送)

【協力】香月家、香月泰男美術館【協賛】JAグループ山口【特別協力】エフエム山口

【特別協賛】ミサワホーム中国山口支店

学芸員によるギャラリートーク

4/2, 4/30, 5/7 10:00~(30分程度)

表紙作品解説

香月泰男(1911-1974)「護」

1969年 油彩/カンヴァス 72.9×116.1cm 山口県立美術館蔵

この作品のタイトル「護」とは、お守りのことです。画面向かって左側に千人針が、中央には首にかけられる紐がついたお守り袋が描かれています。出征する兵士の無事を祈って、千人の女性が一枚の布に一针ずつ縫い玉を作る千人針。その一针一针には、切実な願いが込められています。

第二次世界大戦に従軍した兵士たちのほとんどは、なにかしらお守りの類を身につけていたそうです。この作品を描いた香月泰男(1911-74)も例外ではなく、当時美術教師であった香月は、教え子たちが作ってくれた千人針と妻が縫ったお守り袋、そして家族の写真を携えて出征しました。なかでも家族の写真は、戦場で、そしてシベリアで香月の心の支えだったことでしょう。新婚の頃に写した妻との写真は、シベリアでも香月の肌身を離れることはありませんでした。

この作品のお守り袋の部分をよく見てみると、シベリアから持ち帰った二人の写真が写し描かれています。シベリアから帰国して22年、結婚して31年目に描いた妻の顔。愛情と感謝の気持ちをこめて、一筆一筆重ねていく香月の姿が、画面から透けて見えるようです。

「カンヴァスにこの古びた写真を拡大して写しとる時、そっくり写したつもりだが、妻の顔は実物よりはるかに美人に出来あがっていた。長い間苦勞をかけた妻への、恩返し的心が、無意識のうちに働いたに違いない。」

(シベリア・シリーズ自筆解説文より)

(当館学芸員 萬屋健司)



1913年



1912年

Munich
Who?

松
防
日

本展
「松崎
の

けんびのボランティア活動を紹介します

来館者の方々と作品との距離を縮める橋渡しを—。そんな思いを胸に、山口県立美術館では現在11名のボランティアが活動中です。ただいま開催中の「香月泰男-追憶のシベリア-」展での様子をのぞいてみましょう。

教育普及班

子どものためのギャラリートーク「みんなでみよう」

展覧会会期中の毎週土曜日 11:00~(30分程度、申込不要)

参加したお子さんが感じたことを大切に、色々な絵の見方を引き出すような、楽しいギャラリートーク。お父さん、お母さんもいつの間にか聞き入っていることもしばしばです。



会場でのギャラリートーク



毎回の予習も真剣、トークを充実させる資料作りも欠かしません。

展覧会サポート班

「サインを探せ!!」・「香月泰男美術館 案内マップ」

毎回バラエティに富んだ企画を行っているサポート班。

「絵の細部や質感を見てもらうには…?」「もっと香月さんの作品を深く知ってもらうには…?」

会議と準備を重ねて、香月さんの作品をよりよく見る&より広く知る、二つの企画ができました。



制作中の様子。手先の器用なメンバーです。



マップを片手に、ぜひ香月さんの故郷、三隅へ足を伸ばしてみてください。

広報班

広報誌「Café 101」

ボランティア活動報告や、学芸員への取材、展覧会の記録等を載せた広報誌を発行。美術館スタッフの活動状況を記録し、館内で共有する役割を果たしています。情報と愛情のぎゅっとなつまった広報誌を、今回も作成中!



広報誌「Café 101」。今回で23号になります。

美術館へご来館の際は、ぜひボランティアによる企画にも、ご注目、ご参加下さい。

カンディンスキーと 青騎士展

2011.7.5 TUE - 9.4 SUN



ヴァシリー・カンディンスキー「印象Ⅲ(コンサート)」1911年

今からちょうど100年前の1911年。ドイツのミュンヘンで小さな展覧会が開催されました。そこには不思議な一枚の絵が展示されていました。タイトルは「コンポジションV」。何が描いてあるのか一見ただけではわからない、いわゆる「抽象絵画」でした。作者はヴァシリー・カンディンスキー。彼の所属する美術団体はこの作品を展覧会に展示することを拒否。そこで彼は数名の仲間とともに団体を脱会し、新たなグループをつくって自分たちの展覧会を急遽開催したのです。このグループは一般に「青騎士」と呼ばれています。

今回の展覧会は、カンディンスキーを中心に、第一次世界大戦勃発前夜のドイツで、新たな美術の創造に邁進した若き画家たちの姿を紹介します。

展覧会の見どころ - What? How? Who?



コンポジション って何?

カンディンスキーは、重要な作品に「コンポジション」と名づけています。直訳すれば構成、作曲と言う意味ですが、何かを見ながら描く(写す)のではなく、自分の内面にわき起こるさまざまなイメージや感情に従って絵筆を動かし、検討を加えながら作り上げていく絵の事です。まずは、実作を見てみましょう…



ヴァシリー・カンディンスキー「《コンポジションⅦ》のための習作2」1913年



どんなふうに 抽象画が 生まれたか?



ヴァシリー・カンディンスキー「《秋Ⅰ》のための習作」1910年

カンディンスキーはいきなり抽象画を描いたわけではありません。少しずつ、モノのかたちが消えていく過程をご覧ください。この絵も、木や家のかたちがくっついて、太い線で同じ調子で描かれています。



「青騎士」の 仲間たち

新世紀にふさわしい新しい絵画を創り出そうとカンディンスキーとともに歩んだ仲間たち。フランツ・マルクはカンディンスキーの芸術論に共感していた画家ですが、大戦勃発により従軍、戦場に倒れてしまいます。「青騎士」の仲間たちは戦争によって引き裂かれてしまいました。



フランツ・マルク「虎」1912年

松崎天神縁起絵巻七百年記念

防府天満宮展

日本最初の天神さま

秋の御神幸祭(裸坊祭)でもその名を知られる、山口県防府市の防府天満宮。「日本最初の天神さま」という由緒を持ち、全国でも屈指の規模と歴史を誇る天神社です。この防府天満宮には大内氏や毛利氏をはじめとした、あらゆる時代における人々の篤い信仰をものがたる宝物が、数多く伝えられています。

なかでも「松崎天神縁起絵巻」は、菅原道真公の生涯や、防府天満宮創建の由来を、波乱に満ちた物語と鮮やかな色彩で描き出す、鎌倉時代を代表する絵巻です。今年で制作から700年を迎え、修復を終えて帰還するこの絵巻の全貌を中心に、知られざる防府天満宮の名宝の数々と、県内の関係文化財を一堂に会して紹介します。

本展覧会の目玉
「松崎天神縁起絵巻」
の見どころを、
ひと足お先に
ご紹介します

天神さま誕生のひみつと、 防府天満宮の創建秘話！

学問の神さまとして馴染みある菅原道真公。
その道真公をおまつりする防府天満宮。
彼の波瀾に満ちた生涯や、防府天満宮がなぜ「日本最初の天神さま」という
由緒を持つのかを、みなさんにご存じですか？
道真公はどんな一生を送ったの？なぜ神さまになったの？
防府天満宮創建のきっかけとは！？
「松崎天神縁起絵巻」をひもとくと、その全てがわかります！



防府天満宮の境内
「松崎天神縁起絵巻」
(1311年、防府天満宮所蔵)
第6巻より

色鮮やかな 描写を味わう！

ストーリーの内容はもちろんのこと、細やかで美しい絵画描写も
「松崎天神縁起絵巻」の魅力です。
特にその鮮やかな彩色は、700年前の作品とはにわかに信じら
れないほど。細部まで目をこらして、じっくりご堪能ください。



自部の梅と桜に別れの詩を詠む道真

「松崎天神縁起絵巻」第2巻より



雷神となって都を襲う道真

「松崎天神縁起絵巻」第3巻より

絵巻の全貌を 一挙公開！

全6巻、38場面、全長約75メートルからなる「松崎天神縁起絵巻」。足かけ5年にわたる修復の完了を記念して、室町時代の模本と合わせながら、その物語の全てを公開します。長大な絵巻の全貌を見ることができ、めったにないチャンス。どうぞお見逃しなく。

2011年9月22日 - 11月6日

2011-2012

schedule

山口県立美術館 平成23年度年間スケジュール

	香月室	展示室A 工芸室	小林室	展示室B	展示室C	展示室D
4		3/2~5/8 絵付けされた陶器	3/2~5/8 日本画の戦後 宮崎進の戦後	3/2~5/8 香月泰男 一追憶のシベリアー		
5			閉室 5/20~5/29	休館 5/9~5/19	5/20~5/29 第34回山口伝統工芸展	
6				休館 5/30~7/4		
7				7/5~9/4 カンディンスキーと青騎士展		
8		閉室 7/5~9/4				
9				休館 9/5~9/21		
10	改修工事のため 閉室	9/28~11/27 香月泰男 シベリアを越えて(仮称)		9/22~11/6 防府天満宮展 日本最初の天神さま		
11				閉室 11/7~11/27		
12		閉室 12/1~12/18		休館 11/28~11/30	12/1~12/18 第65回山口県美術展覧会	
1				休館 12/19~1/23		
2		閉室 1/24~1/29			1/24~1/29 第64回山口県学校美術展覧会	
3				休館 1/30~3/31		

Information

■休館日

月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)

館内施設整備、展示作業にともなう臨時休館

(5月9日~19日、5月30日~7月4日、9月5日~21日、11月28日~30日、12月19日~1月23日、1月30日~3月31日)

■開館時間

9:00~17:00(入館は16:30まで)

■料金

コレクション展:一般300(240)円 学生200(160)円

()内は20名以上の団体料金。

18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、

特別支援学校に在学する方等は無料。

山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural
Art Museum

〒753-0089

山口市籠山町3-1

TEL:083-925-7788

FAX:083-925-7784

http://www.yma-web.jp/



特別展:別途定めた料金